

Amagasaki Oda High School SSH Communication



令和元年 7月22日 No.3
兵庫県立尼崎小田高等学校 SSH推進委員会

☆夏のSSH事業の行事 No.1☆

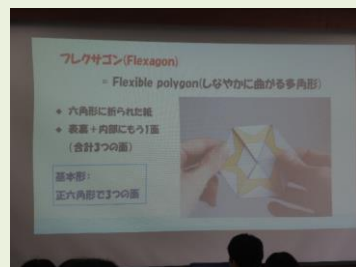
夏休み中も勉強に部活と忙しい中、サイエンスリサーチ科の1,2年生を中心とした多くの生徒が、積極的にSSH行事へ参加しました。7,8月はSSH事業の行事も多く、様々な分野の研究・調査や発表会、他校と合同での行事を行いました。これらの活動を通して、生徒は学校内外で多くの人と接する機会があり、たくさんの刺激を受けていました。また、多分野にわたる活動により2年生は課題研究のための知識・理解を深め、1年生は来年の課題研究を見据え、どのような研究がしたいか具体的に想像していました。



7月11日

数学特別講義

大阪府立大学の会沢成彦教授をお招きし、SR科1年生に特別講義をして頂きました。テーマは「新しい数学の産まれるとき」で、フレクサゴンという多数の正三角形を用いて作られる図形について学びました。生徒自身がグループで活動し、「気づいたこと」「疑問に思ったこと」「こうではないかと考えたこと」の観点に気をつけて法則などについて考えました。



7月12日

コウノトリの郷公園研修

環境学習の一環として、コウノトリの野生復帰事業を行うコウノトリの郷公園、ハチゴロウの戸島湿地に行きました。自然保護、環境問題、生態系の保護、生物多様性の保護を、コウノトリの保護増殖活動を通して、人と自然の共生の取り組みを、体験しながら学びました。



7月13日

サイエンスカンファレンス in 兵庫

兵庫県下のSSH校の生徒たちが神戸大学百年記念館六甲ホールで特別講演を聞いた後、研究内容について英語でポスタープレゼンテーションを行いました。本校はサイエンスリサーチ科3年生が参加・発表しました。

生徒の感想から「エクセルやパワーポイントを活用する技術」、「伝えたいことを明確に科学的根拠に基づいて、聞く人に伝える力」、「限られた知識の中から使える英語をしぼり出し、発表やコミュニケーションをする力」など様々な能力が3年間の探究を通して身につけていると感じられたようです。

また、多くの生徒が「英語でのコミュニケーションは難しかったが、できたときの達成感が大きかった」、「もっと英語ができるともっと沢山の知識が得られるから頑張りたい」と感じていました。



7月21日

地域探究スキルワークショップ①須磨

SSH重点枠プログラム高校生サミットの地域探究スキルワークショップが須磨海岸および須磨海浜水族園で行われました。本校からは2年生14人が参加して、本校を含む5校が参加しました。午前中に海岸で測量、採集を行い、昼休憩の後、水族園内の会議室で海岸実習の結果の共有をし、GISを使って調査結果を考察しました。その後調査方法について振り返り、吉田園長からもアドバイスをいただきました。生徒実行委員会では共同研究のやり方について話し合いました。



本校ホームページにも、SSH事業の年間計画や詳細などを掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

